

はくぶつかんネット

第23号

～ GINOWAN MUSEUM ～

2005年

7～9月

3ヶ月に1回発行

(次号は10月15日)



↑ 大山のアギエー



← 野嵩のちなひちもうい



↑ 真志喜の綱引き

★ 展示会のご案内 ★

「いの～んの綱引き」

みなみな すりてい
♪ 皆々一緒に イヤーサーサーサ ♪



博物館 イメージキャラクター

察度くん と 天女ちゃん

◆ 開催期間 : 2005年 8月14日(日)～
9月 4日(日)

◆ 開催場所 : 企画展示室&ロビー

※ 入 場 無 料

宜野湾市における綱引き行事は「豊年祈願」を目的に、戦前、ほとんどの集落で行われていました。しかし現在、綱引きを行っている集落は2集落(大山・真志喜)で、綱は男女のシンボルをまねた綱の形をしており、綱引きでは綱を高く上げて勝負する「アギエー」を行うのが特徴と言えます。また、「子ども綱引き」として、必ず旧暦の6月15日に行っている集落が1集落(我如古)、綱引きではなく「ガーエー(歌合戦)」のみを行っている集落が1集落(野嵩)です。

そんな市内民俗芸能を、戦前から戦後の歴史の変遷や、綱作りの様子、綱引き行事の内容などを中心に展示することで、市民が綱引き行事について理解や認識を深め、さらにはこれからの綱引き行事を考える場にしたいと考えています。

主な展示物としては、実際に行事で使用された綱や道具、衣装などの実物資料、博物館の収蔵資料、今年の行事中に収集した綱作りの実物資料、自治会所蔵の写真などなどです。行事中以外では見ることのできない資料がたくさんありますので、お友達をたくさん「引っばって」お越しください！

また、綱引きを語り合う機会としまして、講師や綱引き関係者を招いての講演&トークセッションも開催致します。多くの方々のご来館、ご聴講をお待ちしております。

☆期 日 : 8月28日(日) 午後3時～5時

☆場 所 : 当博物館ロビー

★ 文化財図画作品展のお知らせ ★

★市内小・中学生 文化財図画作品の作品募集！

～ 第14回 宜野湾市の文化財図画作品展 開催＆作品募集のお知らせ ～

開催期間 ◇ 2005年 9月25日(日)～10月9日(日)

開催場所 ◇ 企画展示室

入場料金 ◇ 無 料



～ 表 彰 式 ～

期 日 ◇ 2005年 9月25日(日)

時 間 ◇ 午後3時～

場 所 ◇ ロビー



▲ 昨年度の中学生部の教育長賞

「大謝名クシヌカー」 伊波菜々子

宜野湾市立博物館では毎年、小学校3年生～中学生を対象に夏休みを利用して、市内に多数ある文化財の中から気に入った文化財を、実際に見て・実感して・描いてもらっています。そしてその作品を各学校に提出してもらい、提出された作品の中から各賞を決定し、表彰式・展示会を行っています。

今年度も「第14回 宜野湾市の文化財図画作品展」と称しまして、小・中学生からの作品を募集しております！この機会に、家族で市内の文化財に触れるチャンスです♪
多くの作品をお待ちしてまーす(^o^)/

◎ 講演会の報告 ◎

見学会 “宜野湾市の歴史の道をたどる”



▲ 見学会の一コマ

先生の話に熱心に聞いている所



▲ 我如古ヒージャガーにて

去った7月9日(土)に、今年度の講演会の一環で、「宜野湾市の歴史の道をたどる」と題した見学会を行いました。

講師の仲村元惟先生(宜野湾市史編集委員長)の案内を受けながら、市内にある文化財などを数カ所見学しました。見学した場所は、喜友名泉、喜友名石獅子、野嵩石畳道、野嵩のスーヅグワ、我如古ヒージャガー、オーナチマヤーガマと並松の通り、黄金宮とケービン道でした。時間帯が午後2時～午後5時までと真夏の大変暑い日差しの下でしたが、参加者は先生の興味深い歴史や文化の話に真剣に耳を傾けていました。

参加者は28名で、「いつも通る道にも歴史があり、私たちのなにげない生活の中にも、やはり祖先の歴史があることを知りました」、「講師の宜野湾への思いが伝わるお話、楽しく拝聴しました」などの感想が聞かれ、有意義な見学会となったようです。

★今年度残りの講演会は、11月に恒例の「宜野湾市洞窟めぐり」を開催します。こちらの方も、乞うご期待！★

◎ 展示会の報告1 ◎

■ “第5回 新収蔵品展” を開催しました

平成17年度最初の事業と致しまして、平成17年6月12日(日)～7月3日(日)までの約3週間、「第5回 新収蔵品展」を開催しました。今回は、博物館が平成16年度に受け入れた資料を展示しました。

主な展示物として、「硬貨型の公衆電話」や、かつてはどこの小学校でも見られた「木製の机とイス」、最近再び流行しつつある「たまごっち」、一昔前のオモチャとして親しまれていた「琉球張り子」等です。

来館者からは「懐かしい」との声があつたり、小学生の女の子が木製の机を見て、現代の机との大きさに驚き、「昔の子は、あんな小さな机で勉強していて、今の私たちは贅沢だなあ。と思いました。」との声がありました。

また、今回、資料を実際に使って体験してもらうスペースを確保したことにより、大人も子どもも時間を忘れて体感するような、笑いのある楽しい展示会となりました。



▲ 会場の様子



▲ 会場の様子

当博物館では、宜野湾市を中心とした様々なモノを収集しています。

「これはっ!」と思うモノや、「これは・・・」と思うモノまで、随時受け付けていますので、一度博物館までご連絡下さい☆

◎ 展示会の報告2 ◎

■ “慰霊の日特別展” の報告



▲ 展示会場の様子

6月16日(木)～7月3日(日)まで博物館ロビーにて、6月23日・慰霊の日特別展「宜野湾市民の沖縄戦」と題した展示会を開催しました。

これは、慰霊の日に合わせて毎年開催している特別展です。今回から宜野湾市民の沖縄戦の証言をシリーズで、毎年展示していこうと考えています。今回は、沖縄戦の中でも宜野湾村内での体験を中心に取り上げて展示しました。普天間橋、並松、軽便鉄道、避難壕や避難中、嘉数高地、野嵩収容所と6つのテーマに分けて、それぞれにまつわる証言や、写真、実物資料を展示

しました。ではなぜ、証言を中心に展示することにしたかといいますと、知識もちろん大切ですが、やはり生の声にはかなわないと考えたからです。最近、子どもたちへの平和学習の難しさが指摘されています。それは、他者の痛みを想像できない子どもたちが多くなったからではないかといわれています。自分たちが住んでいる身近な地域から沖縄戦を知ること、沖縄戦を身近に置き換えることができ、戦争や平和について問いかけやすくなるのではないかと思います。

子どもたちが少しでも戦争や平和を考える機会を持つことができることを願い、来年の展示会につなげていきたいです。

★ 宜野湾市立博物館 館長就任のあいさつ ★

謹啓、初夏の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

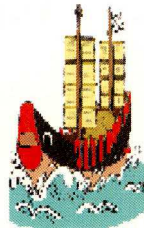
さて、私ことこのたび定期人事異動で、宜野湾市立博物館長に就任いたしました。

宜野湾市立博物館は、「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する」博物館の理念を目標にして開館いたしました。これからもその理念を目標として生涯学習、社会教育機関としての使命を果たすための博物館に努めて参ります。

また、本館は歴史、民俗、考古、文化遺産、自然科学などに関する資料の収集、保管及び展示公開し、広く市民にやすらぎと潤いの実感できる魅力ある博物館運営をめざしてまいりたいと考えております。

もとより浅学非才の身でございますので皆様のご指導をいただき、市立博物館の事業の推進に全力を傾注してまいる所存でありますので、これまで同様前館長はじめ職員に寄せていただきましたご厚意、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(館長 宮城進)



★ 語り継がれる年中行事 ★

沖縄県には様々な年中行事があり、神々や祖先とのつながりを大切にする風習があります。今回は、旧暦の6月に行われる行事に触れたいと思います。



▲ ミーメーのごちそう
白ごはん・豆腐のお汁

(1)旧6月：ミーメー〈新米〉

新しい米の収穫の時期です。ミーメーは、その新米を炊いて神仏に供える日です。この頃、我如古・普天間・野嵩・喜友名・新城・大山・安仁屋では、青年達が小綱引きをしました。新米の頃なので、ミーメーナ(新米綱)とかニーセージナ(ニオ＝青年綱)とも言われました。小綱引きが終わると、今度は大きな綱引きです。

現在、綱引きが行われているのは大山・真志喜ですが、かつてはどの集落でも行われていました。戦前までは、どの地域も稲作があったので、各戸からわらを徴収して綱を作りました。勝負によって年占いをする重要な意味を持っていたので、大変盛り上がったそうです。

※この綱引きについての展示会を、8月14日～9月4日まで開催します。詳細はネットの1ページをご参照ください！

(2)旧6月25日：カシチーウユミ〈強飯折目〉

この日は、新しく収穫したもち米でおこわを炊き、仏壇や火之神に供え、豊作を感謝する日です。これも、人々の暮らしが農耕生活を中心としていたからこそある行事の一つで、6月15日に行われる6月ウマチーと、ほぼ似ています。しかし、ウマチーが琉球王府の国家的な行事であったことと比べると、カシチーは、より庶民の祝いといった様子があります。カシチーは、一般の農民が行う刈り入れを祝う素朴な行事のようです。(大城)



▲ カシチーウユミのごちそう
カシチー(強飯)・豆腐ソブシー

入館料免除・資料館外貸出の申請について

○ 申請する場合は、手続きが必要です。

博物館では入館料の免除申請、資料の貸出申請を行うことができます。
申請書の手続はそれぞれ、「入館料免除申請書」、「資料館外貸出許可申請書」に必要事項を記入のうえ、入館・貸出を希望する日の最低1週間前までに申請してください。
※申請は、必ずしも受理されるとは限りませんので、ご了承ください。

■入館料の免除申請に該当する団体

- ①教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他館長が免除することが適当であると認めた者。

■主な貸出資料

- 収蔵品 ○ビデオ ○写真



～ あなたの家に、眠っていませんか？ ～

博物館では、宜野湾市を中心としたさまざまな生活用品や、当時の暮らしが分かる道具・写真・映像などの収集に力を入れています。

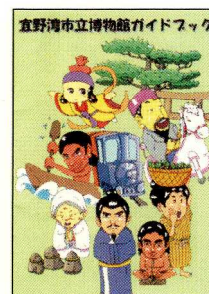
特に昭和の資料については、広く募集しております。

随時、資料の収集を行っておりますので、「こんなものがあるけど、どうかな？」と思っている方は、博物館までご連絡ください。職員がお伺い致します。

「博物館ガイドブック」について

「博物館ガイドブック」の主な内容は、常設展示室の展示解説、博物館見学と移動展の案内です。

冊数に限りがあるため、市内の学校や自治会、県内の博物館や図書館を中心に配布しております。ご覧になりたい方は、博物館の図書室をご利用ください。



～ 市立博物館にて、証明書の交付を行っています ～

住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明のみ、市立博物館内に設置された交付の窓口にて申請を行えば発行されるという仕組みです。

★注意事項

- 1) 火・土・日、祝祭日、慰霊の日、年末年始は休みです。

※火曜日が祝祭日に当たった場合の翌水曜日や、くん蒸などの臨時休館日も、休みになります。

- 2) 午前9時～午後4時30分まで受付します。

- 3) 上記のとおり、住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明以外は交付できません。

平成17年度の事業あんない

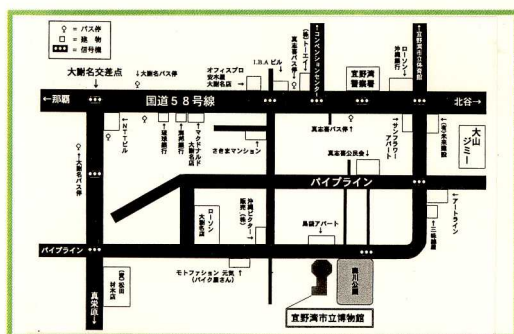
2005年 4月 ~ 2006年 3月

月	日	曜日	内 容	期 間
7	31	日	わらばー体験じゅく「第2回:ぎのわんの綱引き体験」 ○対象は市内在住の小学5・6年生 / 定員30名 / 来年2月まで	※メンバー募集中! 定員に達し次第、受付終了。保険料徴収
8	14	日	わらばー体験じゅく「第3回:牛オーラセー見学」	
8	14	日	企画展「 ^{ちなひち} じの〜んの綱引き ^{みなみな すりてい} ♪皆々一緒に イヤーサーサーサ♪」 ○講演&トークセッション:8月28日(日) 午後3~5時	9月4日(日)まで ※入場無料
9	17	土	わらばー体験じゅく「第4回:ターンムの植え付け」	
9	25	日	展示会「宜野湾市の文化財図画作品展」	10月9日(日)まで ※入場無料
11	5	土	見学会「宜野湾市の洞窟めぐり No.5」 講師:新垣 義夫氏	13~17時まで ※10月に募集を行う
2	5	日	企画展「宜野湾市の字展(仮称)」	3月上旬までを予定 ※日程は未定 ※入場無料

※ 日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317

FAX : 098 - 870 - 9316

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の
午前9時~午後5時

※ 入館は午後4時30分まで

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年未年始(12月29日~1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

※ 火曜日が祝祭日にあたる場合は翌水曜日は、休館日となります。

◎ 常設展示室 観覧料

	大 人	高校・大学生	小・中学生
個 人	200円	100円	50円
団 体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上からとなります。

※ 高校・大学生は、学生証の提示をお願いします。

▽現在、博物館では2つのホームページを開設しております。

ホームページ① : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>ホームページ② : <http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>